

論 文

聴力障害者の視覚的な捕らえ方について — 色彩認知より検討 —

込貝かつみ・山森 千春・小藤 幹恵
(金沢大学医学部附属病院)

The sense of sight of persons with hearing disturbance
— The study on color perception —

Katsumi komukai, Chiharu Yamamori and Mikie Kofuji
Kanazawa University Hospital

要 旨

本研究は、聴力障害者の視覚的能力について明らかにすることを目的とした。聴力障害者と健常者の色彩認知を調査し視覚的な感覚に違いがあるかを検討した。

聴力障害者5名、健常者5名を対象に色彩認知の検査法で混合色彩認知帯域および色彩認知転換点を測定した。また、調査中の身体的、精神的状態についてアンケート調査を行った。

その結果、混合色彩認知帯域及び、色彩認知転換点は色彩によって異なり又、個人によっても異なった。色彩により聴力障害者と健常者では混合色彩認知帯域は異なり、聾者はすべての色彩において混合色彩認知帯域がほぼ同じであった。基本のカードとの色彩認知転換点の差は聴力障害者のほうが少なかった。色彩認知では、色彩により異なるが聴力障害者は健常者より正確に色彩の変化を捕らえる能力があることが明らかになった。